

平成29年度 事業報告について

能美市シルバー人材センターとして、市民からの受注件数の順調な伸び、そして企業からの派遣、公共機関からの施設管理、草刈等の受注も増加しており、それらの仕事を請負うことのできる会員の増加を目指してきました。また、派遣業務の就業時間延長要望に対応した時間の上限の拡大に向けた取り組みを始めました。しかし、定年延長や景気の回復で入会される会員の年齢が高くなる傾向にあり、草刈、剪定などに従事される会員の確保が課題となっています。

今年度の目標であった、会員同士の情報発信のためのシルバーだよりを発行することができ、今後年2回の発刊を目指すこととなりました。

本年度の受託事業実績は受託件数で 2,719 件となりました。就業延人数は 37,822 人で 11.2%減、就業率は 81.0%で前年比 0.8%増加いたしました。

契約金額は 1 億 3,810 万円余りで、内訳は公共関係で約 3,963 万円、民間事業所で約 5,860 万円、一般家庭で約 3,864 万円、独自事業で約 141 万円に対前年度約 1,094 万円の減額となりました。

一般労働者派遣事業については、契約件数 183 件、就業延人数は 14,559 人、契約額は 5,848 万円余りとなりました。内訳は公共関係で約 3,289 万円、民間事業所で約 2,559 万円となりました。今後も適正就業を念頭に引き続き努力していく必要があると考えています。

会員の働きやすい環境と安全性を高めるために職群班との連絡調整にも配慮しながら円滑な運営に努めました。

会員数については、前年度末 447 名に対し、平成 29 年度末は 432 名と 15 名（男 4 名、女 11 名）減少いたしました。

会員全体の平均年齢は 72.9 歳と前年度に比べ若干上がっています。男女別では男性が 73.1 歳、女性が 72.5 歳で、会員の最高年齢は 86 歳です。粗入会率は市の 60 歳以上の人口 15,219 人に対し 2.84%となっています。

以下、事業実施状況の概要を報告いたします。

1. 会員の加入状況

単位：人

年 月 日	男	女	計	摘 要
平成 29 年 3 月 31 日	2 7 2	1 7 5	4 4 7	
中 途 入 会 者 数	3 2	1 7	4 9	
中 途 退 会 者 数	4 6	2 8	7 4	
差 引 き 増 減	△ 4	△ 1 1	△ 1 5	
平成 30 年 3 月 31 日	2 6 8	1 6 4	4 3 2	対前年 15 人減

(地区別会員数)

単位：人

区 分	男	女	計	摘 要
根 上 地 区	1 1 0	8 0	1 9 0	
寺 井 地 区	8 4	5 3	1 3 7	
辰 口 地 区	7 4	3 1	1 0 5	

計 4 3 2 人

2. 受託事業の実績

単位：円

	平成 2 9 年度	平成 2 8 年度	差 引	前年度比
受注件数 (件)	2,723	2,824	△101	△3.5%
就業延人数 (人)	37,832	42,621	△4,789	△11.2%
契約金額 (円)	138,273,267	149,217,693	△10,944,426	△7.3%
就業率 (%)	81.0	80.3	0.7	0.8%

(契約金額の内訳)

(単位：千円)

	平成 29 年度	平成 28 年度	差引	前年度比
公共	39,636	52,945	△13,309	△25.1%
民間事業所	58,606	57,335	1,271	2.2%
一般家庭	38,614	37,323	1,291	3.4%
独自事業	1,417	1,614	△197	△12.2%
合計	138,273	149,217	△10,944	△7.3%

3. 一般労働者派遣事業の実績

	平成 29 年度	平成 28 年度	差 引	前年度比
契約件数 (件)	183	141	42	29.7%
就業延人数 (人)	14,559	14,282	277	1.9%
契約金額 (円)	58,486,771	50,414,235	8,072,536	16.0%

(契約金額の内訳)

(単位：千円)

	平成 29 年度	平成 28 年度	差 引	前年度比
公共	32,892	20,357	12,535	61.5%
民間事業所	25,594	30,057	△4,463	△14.8%
合計	58,486	50,414	8,072	16.0%

4. 安全・適正就業の徹底

(1) 会員の安全・適正就業の向上を図るため、安全委員会を中心に会員への安全就業への周知、会員が作業中のところへのパトロールを実施し、安全への点検を実施しました。また、能美市管内での県連合会との合同の現場巡回パトロールにも参加しました。さらに、剪定、草刈、草むしり班の班長・リーダー19名の参加を得て、県連合会事務局次長を講師に安全講習会を実施しました。

安全標語の募集については15人の会員から40点の応募作品があり、安全委員会で審査の結果、優秀作品5点を県シルバー連合会へ提出しました。

(2) マイクロバス安全運転研修会の実施

マイクロバスを運転する場合、加齢によって生ずる体力の衰えが反射神経や動体視力等に影響します。不注意、油断等に起因する事故を防止するために、こまつ自動車学校で65歳以上の21名が安全運転研修を受講しました。

(3) 事故発生件数

会員の安全意識の高まりにより、事故件数は4件減少しましたが、入院に至ったけがなどが発生しました。

重篤な状況にならなかったものの、少しの気の緩みで重大な結果になりうる事故もあり、無理せず、安全を確認して作業に携わることに心掛けていくことが重要であります。

「慣れによる 心のすきまにひそむ事故」昨年度の県の最優秀作品です。

事故発生件数

傷害保険事故	6件
賠償責任保険事故	1件
その他事故	6件

5. 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの啓発宣伝とボランティア活動を兼ねて下記の活動を実施しました。

(1) 能美市の各地区で開催されたスポーツフェスティバルにおいて、会員、事務局職員が啓発用ティッシュを配布しました。

(2) 市の広報誌による会員募集などで市民に周知しました。

(3) 昨年に引き続き、シルバー人材センター前広場で、市民への日頃の感謝を込めて、「感謝祭イベント」を開催しました。事前の宣伝効果もあり多くの市民の皆様にご来場いただき、独自事業で栽培した「加賀丸いも」やゆず同好会が収穫したゆず、会員が育てた野菜の直販を行いました。そして、会員による丸いも入りつきたて餅や、丸いも入り豚汁を振る舞いました。

会場の設営や振る舞いサービス面での課題があり、今後の開催に向け、会員みなさんでより良いイベント開催ができるよう考えていきます。

(4) 12月28日、各地区会員が門松づくりを行い、市役所本庁舎、寺井警察署、根上総合文化会館、寺井地区公民館、辰口福祉会館、里山の湯、物見山体育館、クアハウス丸谷の8カ所に門松を設置しました。

新聞記事にも取り上げられ、センター事業の啓発とPRに効果がありました。

(5) シルバー会員有志が管理し、栽培するゆず畑は、会員による同好会で運営していますが、同好会会員の減少で管理が厳しくなっており、シルバー全体の問題としていくこととなって来ました。今後は市農政課、国造ゆず生産組合の協力を得ながら果実の活用方法を模索していきます。

6. 独自事業「加賀丸いも」栽培の実施

加賀丸いも栽培は、30アールの作付け分の収穫を終えました。

丸いも出荷量はJA根上へ2,559kg、個人・団体の顧客には1,610kgを販売し、ほぼ全収量を完売することが出来ました。売上額は2,193,410円となりました。

7. 就業機会の拡大

地理的表示保護制度(GI)登録された「加賀丸いも」による地域就業機会創出・拡大事業として、休耕田での丸いもの自主栽培や栽培農家の人手不足を担っていくことを目指す国の事業とし取り組み、JAと連携し品質の向上に努めました。

高齢者の雇用・就業機会の確保を図るための方策の一つとして、55歳以上で就業意欲のある人を対象に「技能講習会」を県連合会と連携して能美市寺井地区公民館で実施しました。

講習会等名	実施日	日数	受講者数
介護補助講習	7月5日～7月14日	7日	15名

センターでは受講生募集チラシを作成して新聞折り込みの結果、講習会への応募とともに仕事の依頼も増加し効果がありました。

尚、技能講習を受けたものの就職できなかった受講者に対しシルバー会員登録をお願いするなど勧誘活動も行ないました。